

1 策定の趣旨

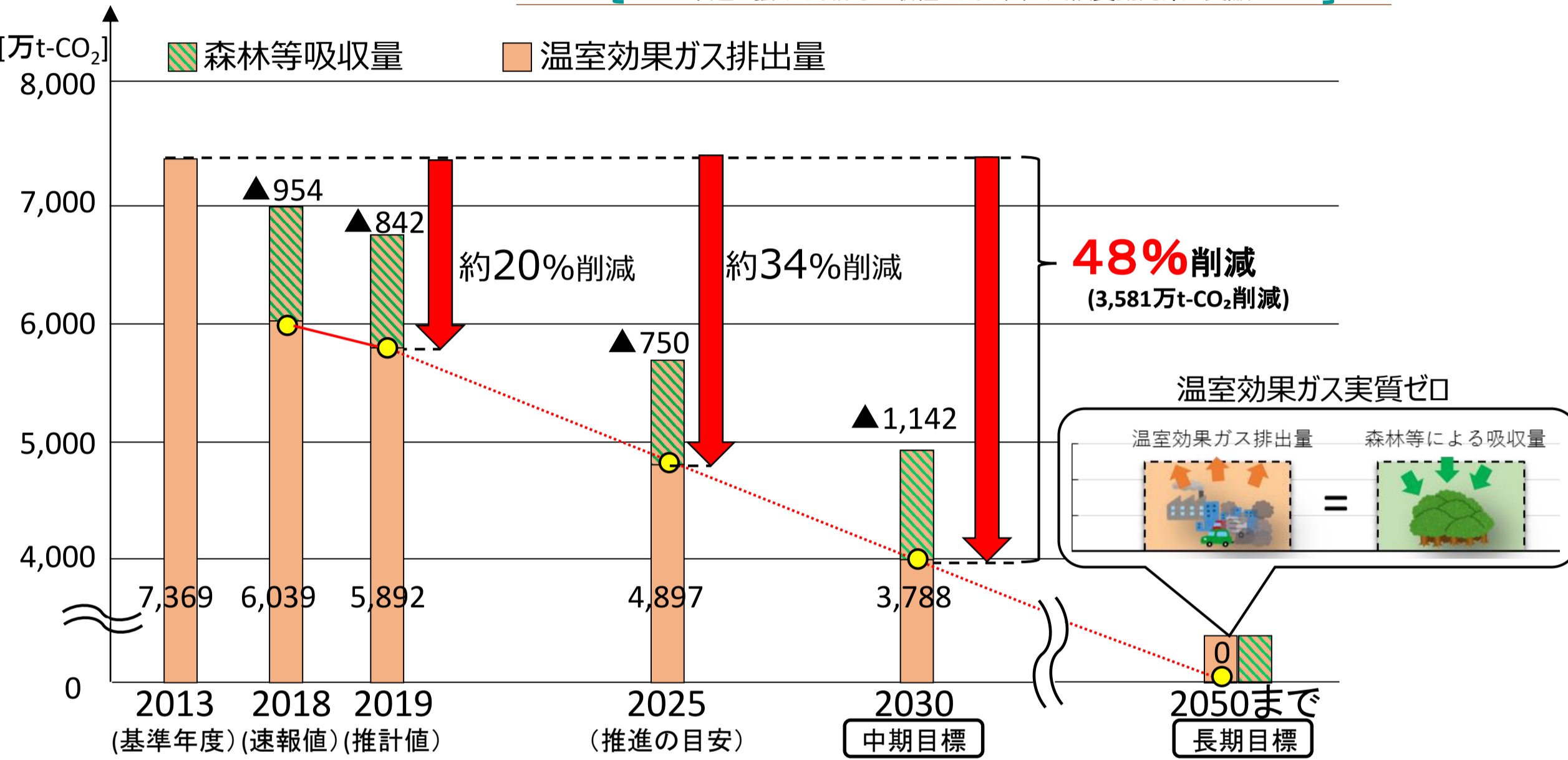
- 道では、令和3年3月に第三次「北海道地球温暖化対策推進計画」を策定し、長期目標である2050年「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組を開始。
- その後、国内外の脱炭素に向けた動きがますます高まり、令和3年10月には「地球温暖化対策計画」が改定され、国の温室効果ガス削減目標が「2013年度比46%削減」に見直された。
- このような状況変化を踏まえ、**2030年度の削減目標の見直し**を行うとともに、重点的取組の追加・拡充、補助指標の追加など所用の改定を行った。(計画期間：2021(令和3)年度から2030(令和12)年度まで)

2 北海道の削減目標

中期目標(2030年度)と排出実績

中期目標 2013年度比 **48%削減**

今後とも、再生可能エネルギーの道外への移出、ブルーカーボンの検討など本道の強みを活かした取組により、国の気候変動対策に貢献



主な分野毎の削減目標

区分	分野毎の削減目標[万t-CO ₂]				
	産業	業務その他	家庭	運輸	
2013年度排出量 (基準年度)	2,071	1,010	1,519	1,260	
2030年度 (目標年度)	排出量	1,428	579	801	907
	削減割合	31%	43%	47%	28%

(参考)一世帯当たりの排出量 [t-CO ₂ /世帯]	
2013年度(基準年度)	5.6
2030年度(目標年度)	3.5

3 温室効果ガス排出抑制等の対策・施策

取組の基本的な考え方

- 地域の脱炭素化と経済の活性化、レジリエンス向上の同時達成
- 再生可能エネルギーや森林など本道の豊かな地域資源を最大限活用
- ゼロカーボンに向けた認識の共有、意識の醸成、ライフスタイルや事業活動等の脱炭素社会に向けた自発的転換の促進
- 環境と経済が好循環するグリーン社会の構築

重点的に進める取組

多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化

豊富な再生可能エネルギーの最大限の活用

森林等の二酸化炭素吸収源の確保

- ✓脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへ転換
- ✓地域の脱炭素化
- ✓交通・物流の脱炭素化
- ✓「グリーン×デジタル」の一体的な推進
- ✓ZEB,ZEHの普及など建築物の脱炭素化推進
- ✓持続可能な資源利用推進
- ✓革新的イノベーションによる創造
- ✓気候変動への適応

- ✓地域特性を生かしたエネルギーの地産池消の展開
- ✓ポテンシャルの最大限活用に向けた関連産業の振興

- ✓森林吸収源対策
- ✓環境保全型農業の推進
- ✓都市緑化の推進
- ✓自然環境の保全
- ✓水産分野における取組